

能代都市計画公園の変更（能代市決定）

都市計画公園中 5・5・101 号能代河畔公園を次のように変更する。

種 別	名 称		位 置	面 積	備 考
	番 号	公 園 名			
総 合 公 園	5・5・101	能 代 河 畔 公 園	能代市万町、大町、 川反町、浜通町	約10.5ha	

「区域は計画図表示のとおり」

理由

本公園は、中心市街地の緑地確保や防災機能の向上など、都市機能確保のため整備を進めてきたが、昭和53年度の計画決定以来、本市をとりまく社会情勢等の変化から、全体計画を見直し、計画面積を縮小するものである。

変更対照表（能代市決定）

（変更前）

種 別	名 称		位 置	面 積	備 考
	番 号	公 園 名			
総 合 公 園	5・5・101	能 代 河 畔 公 園	能代市万町、大町、川反町、浜通町	約14.8ha	

（変更後）

種 別	名 称		位 置	面 積	備 考
	番 号	公 園 名			
総 合 公 園	5・5・101	能 代 河 畔 公 園	能代市万町、大町、川反町、浜通町	約10.5ha	

変 更 理 由 書

能代河畔公園は、能代市のほぼ中心部に位置し、木工・製材の集積地としての機能を果たしていた米代川河口に近い左岸の木材工場の移転跡地を活用し、市民レクリエーションの場、文化創造の場、防災の場を確保し、能代にふさわしい公園とすることを目的に、総合公園として昭和54年3月に面積約14.8ヘクタールで都市計画決定され、これまでに、総合体育館や市民プール、子ども館、芝生広場などを整備し、能代市内外の方々から利用されている。

その後の社会情勢等の変化を踏まえ、平成21年度に策定した能代市都市計画マスタープランにおいては、能代河畔公園の面積を縮小し、見直しによって不足する機能については、能代公園や風の松原、能代港の港湾緑地などの類似施設との連携強化による補完を行うこととしている。

また、平成24年度策定の能代市緑の基本計画においても、公園現況調査等による分析を行い、計画面積の縮小を行っても、市民一人当たりの公園面積が十分満たされている結果となった。

以上のことから、能代河畔公園の面積を、約14.8ヘクタールから、約10.5ヘクタールに縮小するものである。

都市計画の策定の経緯の概要

能代都市計画公園（5.5.101 能代河畔公園）の変更

事 項	時 期	備 考
知事事前協議	平成 26 年 2 月 4 日	
計画案の縦覧	平成 26 年 2 月 4～18 日	
能代市都市計画審議会	平成 26 年 2 月 21 日	
知事協議	平成 26 年 3 月 18 日	
決定告示	平成 26 年 3 月 25 日	
関係機関との協議経過		
①公安委員会	なし	
②道路管理者	なし	
③河川管理者	なし	
④JR	なし	
⑤農林部局	なし	
⑥その他	なし	